

【暫定版】

総務財政常任委員会会議録

令和7年11月20日(木曜日)

鹿 角 市 議 会

出席委員等（5名）

委員長	湯瀬弘充	副委員長	舘花一仁
委員	中山一男	委員	丸岡孝文
委員	松村託磨		

欠席委員（1名）

委員	宮野和秀
----	------

事務局出席職員

事務局長	花ノ木正彦	書記	田村麻衣子
------	-------	----	-------

説明のため出席した者の職氏名

総務部長	大里豊	総務部行政経営推進官 兼 行政経営推進室長	村木正幸
総務部付部長待遇	木村正樹	会計管理者 兼 会計課長	佐藤千絵子
総務部次長 兼 政策企画課長	成田匡	総務部検査官 兼 契約検査室長	田口和宏
総務課長	守田敏子	総務課政策監 兼 行政班長	工藤伸哉
総務課危機管理監 兼 危機管理室長	阿部厳祐	総務課政策監 兼 デジタル行政推進室長	黒澤昌基
総務課付課長待遇	黒沢書彦	総務課付課長待遇	千葉茂雄
総務課付課長待遇	田口昌明	政策企画課政策監 兼 総合戦略室長	成田仁文
財政課長	相川保	財政課政策監 兼 財政班長	田村宏一
監査委員事務局長	成田文子	選挙管理委員会事務局長	児玉充
行政経営推進室主幹	美濃山伸也	総務課主幹 兼 秘書班長	畑澤正樹
総務課主幹 兼 職員班長	田山公江	政策企画課主幹 兼 政策推進班長	石木田真知子
財政課主幹 兼 管財地籍班長	阿部友美範	会計課主幹	木村陽子
監査委員事務局主幹	鈴木忍	選挙管理委員会事務局主幹	古川昭子
総務課デジタル行政推進室副主幹	木村貴宏	政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長	似鳥恵美子

午前 10 時 00 分 開会

【開 会】

○湯瀬委員長 委員の出席が定足数に達しておりますので、ただいまより総務財政常任委員会を開会いたします。

なお、宮野委員は、都合により本日欠席でございます。

【委員長挨拶】

○湯瀬委員長 皆様、改めておはようございます。

本日、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

鹿角市にも雪が降りましてですね、もうすぐ 12 月だというのに、今年は例年以上にまだまだ熊の出没が続いております。あちこちで警戒などが続いている状況となっております。駆除や巡回など、市民の安全確保に向けて、様々な人たちが対応くださっておりますが、日々活動していただいている皆様には、この場をお借りしまして、改めて感謝申し上げます。そして、対策・支援に駆けつけてくださっている自衛隊の皆様にも、心より感謝申し上げたいと思います。これは、市民にとって大きな、心強いものと本当に感じております。私たちも、市民の安全を第一に、本日の委員会も建設的な意見を交わしていきたいと思っておりますので、皆様どうかよろしく願いいたします。

ここで、委員及び職員の皆様をお願いいたしますが、会議記録を作成する関係上、発言の際は委員長の許可を得た上で、お手元にありますマイクスイッチをオンにして、赤色のランプが点灯してから発言願いますようお願いいたします。

また、発言終了後は、マイクスイッチをお切りくださいますようご協力をお願いいたします。

なお、委員長の許可がない発言については、会議記録上、不規則発言として記載されることとなりますので、徹底してくださるようお願いいたします。

【所管事項の報告について】

○湯瀬委員長 次に、所管事項の報告を受けます。順次報告を受けた後、所管ごとに区切って質疑を受けてまいります。

それでは、順次報告願います。大里総務部長。

○大里総務部長 おはようございます。総務部の所管事項についてご報告いたします。所管事項は 7 項目ございますが、私からは項目 1 を報告させていただき、その後の項目 2 から項目 7 につきましては、担当からご説明申し上げますのでよろしく願いいたします。

それでは、資料 2 ページをお願いいたします。

1 の「令和 7 年度職員採用試験について」でございますが、一般事務職（上級）、専門職（土木技

師上級、保健師)について募集を行いました。土木技師上級については応募がございませんでした。一次試験はテストセンター方式により6月から7月にかけて行っております。その後、二次試験を8月4日に実施し、最終合格者として、一般事務職(上級)でA登録1人、B登録1人を、専門職(保健師)でA登録1人、B登録2人を決定し、合格発表を8月21日に行いました。

また、一般事務職(初級)、専門職(土木技師初級)については、一次試験を9月に市役所会場及びテストセンター方式にて行っており、二次試験を10月17日に実施し、最終合格者として、一般事務職(初級)でA登録2人、B登録2人を、専門職(土木技師初級)でA登録1人を決定し、合格発表を10月31日に行っております。

なお、採用決定については、合格者を採用候補者名簿に登録し、本人への意向確認を基にA登録者から順に採用を決定してまいります。

私からは以上であります。

○湯瀬委員長 成田総務部次長。

○成田総務部次長 兼 政策企画課長 引き続き、報告事項の説明をいたします。

2の「ショプロン市からの行政訪問団の受入れについて」です。

去る10月15日から20日までの間、ハンガリー国ショプロン市より、ファルカシュ市長夫妻をはじめ、副市長、市議会議員4人、副書記官、秘書室長の9人からなる行政訪問団が、9年ぶりに本市を訪れました。

滞在期間中は、歓迎レセプションや市内各所の視察による市民や事業者との交流を通じて、訪問団の皆様には本市への理解を一層深めていただきました。また、市民にとりましても、異文化や国際的な視点に触れる貴重な機会となり、改めて国際交流の意義を実感する契機となりました。

10月17日には、前回に引き続き、今後の交流の方向性について両市長による協議を行い、合意した主な事項については資料にまとめておりますのでご覧ください。

1の教育振興関係につきましては、1点目の日本語語学指導員の派遣について、今後も継続することで一致いたしました。ファルカシュ市長からは、「これまでに900人以上のショプロン市民が日本語を学び、日本語教育の機会を得ていることに感謝している」との発言がありました。

2点目の青少年ホームステイについては、再開することで合意いたしました。市民レベルでの交流促進や国際的視野を持つ人材育成の観点から、本市より再開を提案したところ、ファルカシュ市長も賛同され、今後は、ショプロン市の日本語教室で学んだ生徒やその家族が本市を訪問するといった交流、また本市からは、中高生などの交流が期待されます。

2の文化・スポーツ振興関係につきましては、1点目のスポーツ交流について、2016年に女子バ

スケートボール競技による交流の経緯や、2019年にオリンピックを契機とした交流に合意していたことを踏まえ、今後もスポーツ分野での交流を進めていくことといたしました。ファルカシュ市長からは、「ショプロン市はバスケットボールが盛んな都市であり、今後も同分野での交流が可能である」との発言がありました。

2点目のショプロン市制750周年記念への招待については、令和9年、2027年にショプロン市制750周年を迎えるに当たり、鹿角市からの訪問団を招待したい旨の申出がありました。

また、3点目の花輪ばやしへの招待については、本市から、令和11年、2029年の受入れは、本市を代表する夏の伝統行事花輪ばやしにショプロン市の関係者を招待したい旨をお伝えしております。

3の産業・観光振興関係につきましては、1点目の特産品・食文化を生かした交流では、両市の特産品を生かした交流や販路拡大、共同イベントの開催、商品開発などの可能性について意見交換を行いました。ファルカシュ市長からは、「ショプロン市では赤ワインが名産であり、年2回開催するワインフェスティバルの場で鹿角市の特産品を紹介することや、企業間のコラボレーション、工芸品展示なども可能である」との提案があり、両市で今後、事務レベルで調整を進めていくことで一致いたしました。

2点目の観光分野における相互交流については、ファルカシュ市長から、「ショプロン市は観光都市として発展しており、観光分野でも鹿角市と連携を深めたい」との提案がありました。笹本市長からは、本市における自然や国立公園を活用した観光振興の方向性を紹介し、同分野での協力を進めていくことに賛同いたしました。

以上のとおり、今回の懇談を通じて、両市は教育・文化・スポーツ・産業・観光の各分野における交流の強化、発展について共通認識を確認し、今後は、両市の事務レベルで具体的な交流内容を検討し、持続的な関係発展に向けて取り組むことで一致いたしております。

また、このたびショプロン市より、本市が長年にわたり築いてきた友好と信頼の関係を高く評価いただき、同市における最高位の名誉表彰である「最も忠実なる都市名誉賞（C i v i t a s F i d e l i s s i m a）」を授与いただきました。さらに、「ハンガリー国内地方自治体優良事例プログラム2025」におきましても、両市の姉妹都市提携が優良事例として第3位に選出され、表彰された旨の報告がショプロン市より寄せられております。

これらの受賞は、長年にわたる両市の交流の歩みや、日本語語学指導員を中心とした日本語教育活動、市民同士のつながりを通じて、ショプロン市における日本への関心が高まり、多くの市民が日本文化に親しむようになったことが高く評価されたものと伺っております。

今後も、ショプロン市との絆をさらに強めて、市民の皆様が互いの文化や暮らしをより身近に感じられるような交流を重ねてまいりたいと考えております。

次に、3.「出会い応援事業について」であります。結婚を希望している独身男女に対して出会いの場を創出し、交流のきっかけづくりとすることを目的に、去る10月5日に「第14回かづの縁結び」を開催しました。

今回はアウトドアイベントとして、男性9人、女性4人が出席し、バーベキューとニュースポーツのモルックを楽しみながら交流を深め、3組のカップルが連絡先を交換しております。女性参加者の獲得が課題となっておりますので、今後もニーズを探りながら、出会いの機会を提供できる事業を進めてまいります。

次に、4.「寅さんサミット2025について」であります。包括的連携協定を締結している東京都葛飾区の柴又帝釈天参道などを会場に、第11回寅さんサミット2025が、去る11月1日と2日に開催されました。

2日間とも天候に恵まれ、多くの来場者で賑わう中、本市からは、産業交流として特産品の販売ブースのほか、文化交流として花輪ばやしを披露し、昼時には大盛況となりました。このほか、帝釈天参道の地元商店会の店舗とコラボレーションし、本市で採れたブルーベリーを使ったロールケーキとドリンクを2店舗で限定販売しましたが、とても好評でありました。

次に、5.「関係人口創出推進事業について」であります。地方に関心のある首都圏の方々に関係人口として関わってもらい、地域とのつながりの構築と地域課題の解決に取り組む人材育成を目的として開催しているかづコトアカデミーの現地フィールドワークを、去る10月24日から26日まで市内を会場に開催いたしました。

首都圏在住者10人と本市在住者2人が参加し、本市の現状や課題を学び、関わり方の発掘や実践プランの作成をするために、地域づくり活動を実践しているゲストの方々の活動拠点などを訪問し、日頃の活動の中で感じている課題や、活動を通して得られたことなど様々なお話をさせていただいております。

また、メイン講師であるソトコト編集長指出一正氏の講演では、地域の魅力の伝え方や二拠点居住の考え方についてお話いただき、地域との関わり方を学ぶ機会となりました。

今後はワークショップなどを経て、最終回となる4回目の講座では、講座を通して生まれた本市とのつながりを生かして、今後どのような活動をしていきたいか、参加者全員から関わり方プランの発表を行ってもらうこととしております。

政策企画課からの報告は以上です。

○湯瀬委員長 相川財政課長。

○相川財政課長 続きまして、6の「普通財産の貸付について」説明させていただきます。

来年4月より、旧末広小学校の校舎、体育館が市内企業の製造工場として活用される見通しとなりましたので報告させていただきます。

経緯といたしましては、昨年秋頃ですが、市内に本社を置きますジョイタム株式会社より相談が寄せられ、今後の事業拡大に向けて工場の増設を図りたいため、旧末広小学校施設を全て借り受けたいとの申出を受けまして、双方で協議を進めてきたところであります。

本年6月には、施設内部の状況等を確認いただき、貸付開始までの手続や条件面等を擦り合わせてきたところでありますが、去る10月6日付で普通財産貸付申請書、また、事業計画書の提出を受けまして、内容を審査の上、本貸付けを決定したものでございます。

また、貸付方法に関して、有償貸付と記載してございますが、相手方は、来年2月に企業立地促進条例の指定事業者の指定を受けるための準備を進めておりまして、晴れて指定事業者に指定となった場合には、最長9年間の減額貸付が可能となります。

初めの3年間は、正規の貸付料から4分の3を減額、4年目からは4分の2減額、7年目からは4分の1減額という形で、9年間のトータルでは正規貸付料が半額相当まで減額となるものでございます。

そのため、貸付期間は、令和8年4月1日から令和11年3月31日までの3年間としておりますが、相手方も事業計画において3年ごとに契約更新を見込んでおり、減額後の令和8年4月1日からの貸付料といたしましては、年額で180万円程度となる予定でございます。

以上でございます。

○湯瀬委員長 木村総務部付部長待遇。

○木村総務部付部長待遇 消防本部から、7の「令和8年鹿角市消防出初め式について」報告いたします。

期日は1月4日（日）。当日は午前9時30分から文化の杜交流館コモッセにおいて、無火災祈願、表彰式を行った後、花輪大町・新町へ移動し、11時15分頃から、出初め式宣言や観閲、分列行進などを予定しております。

委員の皆様におかれましては、ぜひ出席いただき、消防団員を激励くださいますようお願いいたします。

以上で、消防本部の所管事項の報告を終わります。

○湯瀬委員長 所管事項の報告が終わりましたので、これより質疑を受けます。

初めに、報告事項1の「令和7年度職員採用試験について」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○湯瀬委員長 ないようですので、次に、報告事項2の「ショプロン市からの行政訪問団の受入れについて」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○湯瀬委員長 ないようですので、次に、報告事項3の「出会い応援事業について」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○湯瀬委員長 ないようですので、次に、報告事項4の「寅さんサミット2025について」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○湯瀬委員長 ないようですので、次に報告事項5の「関係人口創出推進事業について」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。松村委員。

○松村委員 おはようございます。この首都圏在住者10人ですが、これは前年度とは全く違う方が10人という認識で合っていますでしょうか。あと、鹿角市在住者2人についても教えていただきたいです。

○湯瀬委員長 似鳥政策企画課副主幹。

○似鳥政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長 受講生は、12名全員が昨年と別の方々です。

○湯瀬委員長 松村委員。

○松村委員 地元の在住者2人も違う方ですか。

○湯瀬委員長 似鳥政策企画課副主幹。

○似鳥政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長 鹿角市在住者も昨年とは別の方となっております。

○湯瀬委員長 松村委員。

○松村委員 前回もお伺いしたかもしれないですけど、前年度の方のフォローアップと言いますか、今回全く違う12人ということで、前年度の方はどういうふうに関わっているのかというところをお聞かせいただいでよろしいでしょうか。

○湯瀬委員長 似鳥政策企画課副主幹。

○似鳥政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長 前年度は首都圏在住者12名、鹿角市在住者6名

から受講いただいております。鹿角家に入会いただき、関係人口としてそれぞれができる場所で、それぞれが関われる内容で取り組んでいただいております。

実践する際には、昨年のフィールドワークでご協力いただきました市内の方々であったり、市のほうに相談があったりですとか、フォローが必要な場合には随時対応して実践していただいているところがございます。

また、昨年度からLINEのオープンチャットを継続的に実施しておりまして、そちらで鹿角の情報を共有したり、相互に交流なども図っております。

○**松村委員** そうですね、たしか昨年も、今回も最終4回で関わり方プランの報告をというお話であったと思うんですけども、昨年何か関わり方のプランを提案いただいた中で、実際に提案された形通りに動いているものって、何か事例としてございますか。

○**湯瀬委員長** 似鳥政策企画課副主幹。

○**似鳥政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長** 昨年は6件実践されております。その中では、首都圏で鹿角の食材を使ったPRイベントを受講生同士で企画・実践したイベントが2件ございます。

また、訪問した際に、関わった方がつくられた物などをお取り寄せして、自分の活動先のほうでその物などをお配りしながら鹿角の紹介をしていただく。

あとは、鹿角のPRマガジンというものをつくりまして、そちらで鹿角の情報発信をしている方などがいらっしゃいます。

○**湯瀬委員長** 松村委員。

○**松村委員** 大変素晴らしいと思います。やっぱり一過性で終わってしまうのが一番、関係人口はもったいないと思うので、引き続き形になるような対応をしていただければと思っております。

○**湯瀬委員長** 似鳥政策企画副主幹。

○**似鳥政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長** 先ほど委員がおっしゃられましたように、一過性で終わらないというところが非常に大事なところかなと思っております。

実際、プランをつくっていただいた方の中でも、実践はしたいけれどどうやったらいいかと迷われている方や、講座が終わって関わりが薄れている方もいらっしゃいます。大変熱量の高い方々が集まっておられますので、今後は、継続的な関わりを持つ仕組みづくりを構築しまして、地域の受入体制など、そちらのほうを進めていかなければならないかなと考えております。

○**湯瀬委員長** ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○湯瀬委員長 ないようですので、次に、報告事項6の「普通財産の貸付について」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

○湯瀬委員長 松村委員。

○松村委員 すごく基本的なことなんですけれども、賃借料、貸付料が年額180万円と先ほど伺ったんですけれども、これは3年間の減額があって180万円という意味でしょうか。

○湯瀬委員長 阿部財政課主幹。

○阿部財政課主幹 兼 管財地籍班長 委員のご指摘のとおりです。

○湯瀬委員長 松村委員。

○松村委員 そうしたら、正規の金額としては、4分の3が減額でしたか。

○湯瀬委員長 阿部財政課主幹。

○阿部財政課主幹 兼 管財地籍班長 最初の3年間で4分の3を減額といった形になっております。

正規の貸付金額については、約700万円強となっております。

○湯瀬委員長 松村委員。

○松村委員 どうなのでしょう。ジョイタムは700万円でもずっと継続して使いたいという意向なのででしょうか。それとも減額があるからしばらく使いたいというような、どちらの印象でしょうか。

○湯瀬委員長 相川財政課長

○相川財政課長 まず、ジョイタムには購入を前提に検討いただけないかというアプローチで、我々としてはお話をさせていただきましたが、それは残念ながら、そこまでの投資はちょっと難しいと。ただし、向こう10年ほど受注を見込める状態にあって、急遽生産拡大の拠点を整備する必要があるという内容でございました。

その10年間の利用、使用し続けることが堅いということで、9年間の使用ということはまず間違いないのではないかと考えております。その使用に当たっては、ジョイタム側でもキュービクルなどを再整備する必要もあってですね、そうした投資も予定される貸付けということになっております。その段階で、既存の企業立地促進条例上での優遇措置として初回3年間は4分の3、次は4分の2、残りの3年間は4分の1、トータルで半額の減額に対応できるという既存制度がございましたので、これを活用することで、本来の貸付料の半額で済むということは大分後押しになったはずで。

○湯瀬委員長 松村委員。

○松村委員 質問ではないのですが、ぜひ市内のこういう事例をどんどんやっていただければありがたいということで、引き続きよろしくお願いたします。

○湯瀬委員長 館花副委員長。

○館花副委員長 今の付け加えになると思いますけれども、こうやって普通財産を借りるということで、手上げする業者があるというのはすごくよいことだと思います。そして、また鹿角市には普通財産として空いている施設はありますので、こういった企業への補助事業があることをしっかり皆さんに伝えていただいて、1社でも多く手上げしていただいて、また、普通財産を少しでも借りていただけるよう案内をしていただきたいと思います。お願いします。

○湯瀬委員長 相川財政課長。

○相川財政課長 空き公共施設の利活用をどんどん図っていかなくてはならないというのは使命でございます。財政課としても一昨年ですか、空き公共施設の活用を促進するための条例の設置をお認めいただいて、残念ながら今回はその適用例ではございませんけれども、積極的にPR情報をホームページ上に掲載しながら、そのように努めていきたいと思っております。

ただ、残念ながら末広小学校のようなオープンスペースのような施設ではない施設ばかりでして、間仕切りの解消から設備投資も相当見込まないと、活用そのものが難しい施設ばかりが残ってしまっておりますので、大変難しい状況ではございますが、前向きに取り組んでいきたいと思っております。

○湯瀬委員長 丸岡委員。

○丸岡委員 今回ここを貸し付けるに当たって、ジョイタムは拠点何か所かで事業をされていますが、その拠点はそのまま、事業を広げるというイメージの貸付けでしょうか。それとも、ここをやることでどこかの事業所を集約するというようなお話とかがあるのでしょうか。

○湯瀬委員長 阿部財政課主幹。

○阿部財政課主幹 兼 管財地籍班長 先ほど課長も言いましたとおり、事業拡大、生産工場の拡大ということがまず第一であります。末広小学校の規模がやはりかなり大きいことから、資材置き場としても活用できるということで、現在借りている資材置き場について相談を受けている状態です。

○湯瀬委員長 相川財政課長。

○相川財政課長 ちょっと補足させていただきますと、実は既に資材置き場の活用先として普通財産である旧山根分校の一定スペースをお貸ししております。そこに関しては、一旦返還を受けまして、今班長が説明しました末広小学校のほうに統合を図るというような面はございます。

○湯瀬委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 湯瀬委員長 ないようですので、次に、報告事項7の「令和8年鹿角市消防出初め式について」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。館花副委員長。
- 館花副委員長 1点お尋ねいたします。毎年恒例で1月4日という日付でございますが、これは固定です。ほかの皆さん、大館市とかいろんなどころでは、どこも1月4日にやっていたのが、だんだん少しずつ変わって行って、第2週の土曜日だとか日曜日だとか、そういったところに変更しているというのをよく伺っておりますので、鹿角市のほう、消防本部としてはどのようなお考えなのか教えていただけますか。
- 湯瀬委員長 千葉総務課付課長待遇。
- 千葉総務課付課長待遇 以前は1月4日固定で開催しておりましたが、消防団員からの要望等もありまして、検討しまして、正月の三が日を除く土日で開催ということに変更しております。今回はたまたま1月4日になったわけでありまして。
- 湯瀬委員長 館花副委員長。
- 館花副委員長 そうしますと、次年度以降の日程というのはいまお示しいただけるのですか。
- 千葉総務課付課長待遇 現在消防団の幹部とも検討しておりますが、次の開催となりますと、結構1月の中旬以降になることも予想されておりますので、そのあたりをどうするかという点で現在協議中でございます。
- 湯瀬委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 湯瀬委員長 ないようですので、所管事項の報告についてはこれで終わります。

【案 件】 (1)付託事件の審査について

- 湯瀬委員長 次に案件に入り、(1)付託事件の審査を行います。
- 当委員会に閉会中の審査事件として付託されております「市総合計画の推進について」であります。委員の皆さんから質疑・ご意見等がございましたら発言願います。松村委員。
- 松村委員 議案の中で、指定管理に関するものが……
- 湯瀬委員長 暫時休憩いたします。

午前10時33分 休憩

○

午前10時35分 再開

- 湯瀬委員長 会議を再開いたします。
- ほかにございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○湯瀬委員長 それでは、「市総合計画の推進について」は、今後においても継続審査すべきこととし、本日の閉会中の審査事件の審査はこれで終了いたします。

【案 件】 (2) その他

○湯瀬委員長 次に、(2)その他に入ります。

初めに、当局より説明願います。守田総務課長。

○守田総務課長 私から、本日現在で取りまとめております、12月定例会の提出予定議案について、資料1の議案目録案を基に、説明をいたします。

12月定例会提出予定議案は、物品の購入案件1件、総合計画基本構想の変更1件、指定管理者の指定案件12件、市道路線の認定案件1件、条例案件7件、補正予算案件6件の計28件を予定しております。なお、物品の購入1件につきましては、初日での採決をお願いするものです。

それでは、このうち総務部関連の議案4件について説明をいたします。

上から2つ目、「第7次鹿角市総合計画基本構想の変更について」は、近年の社会経済情勢等の変化に対応していくため、令和2年12月に策定した本構想の変更について、議会の議決をお願いするものです。

続きまして、2ページ目をお願いいたします。

2ページ目の下から3つ目、「議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について」と、その下「特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について」は、秋田県人事委員会勧告を鑑みて行う一般職の期末勤勉手当支給月数の引上げ改定との均衡を考慮し、期末手当の支給月数を年間0.05月分引き上げるものです。

次に、「一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について」は、同じく秋田県人事委員会勧告を鑑み、官民格差を解消するため若年層を中心にしつつ高年齢層にも配慮した給料水準の引上げを行うほか、再任用職員も含めた職員の期末勤勉手当の支給月数を期末手当で年間0.025月分、勤勉手当の支給月数を年間0.025月分、合わせまして年間0.05月分引き上げるものです。

また、併せて自家用自動車利用の通勤手当の上限及び宿日直手当の上限を引き上げるものです。

また、このほか資料はございませんが、定例会の一般質問2日目の日程終了後に、国の災害査定に対応した農業用施設災害復旧事業の補正予算の追加提案を予定しています。

補正予算関係については、財政課長が説明をいたします。

以上で、説明を終わります。

○湯瀬委員長 相川財政課長。

○相川財政課長 それでは、資料2をご覧くださいと思います。

12月補正予算案の概要について説明させていただきます。こちら、本日現在の取りまとめとなりますので、提案時まで若干の変更があり得ますことをお含みおきいただきたいと思います。

では、一般会計補正予算（第6号）ですが、補正額は7億5,494万4,000円の追加で、補正後の予算規模は199億6,367万5,000円となります。補正の主な内容といたしましては、今後の予算執行見込みに応じた市道除排雪経費などの増額や、秋田県人事委員会の勧告等を踏まえた人件費の調整などがございます。

それでは、主な事業について説明いたします。

「財政調整基金等積立金」3億800万円の追加は、地方財政法第7条の規定に基づき、前年度繰越金の2分の1を下回らない額を財政調整基金に積み立てるものです。

「地域情報化推進対策費」200万円の追加は、国道改良等に伴う移設工事費に予算の不足が見込まれることから、光ファイバーケーブル移設工事負担金を増額するものです。

「鹿角広域行政組合負担金」1,107万3,000円の減額は、人事異動等に伴う人件費の調整や前年度繰越金等の確定に伴うものとなります。

「返還金」4,289万6,000円の追加は、令和6年度実績の確定に伴う障害者自立支援給付費負担金返還金など20件の国庫負担金及び国庫補助金を返還するものです。

「交流センター改修事業」1,797万8,000円の追加は、交流センターのキュービクルの規格変更に対応する必要があるため、電気設備工事費を増額するものです。

「障害者自立支援給付事業」3,610万8,000円の追加は、障害者自立訓練や短期入所などの実績見込みにより、扶助費を増額するものです。

「後期高齢者医療費」740万8,000円の追加は、令和6年度実績の確定に伴い、秋田県後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金の増額等を行うものです。

「医師確保対策事業」1,800万円の追加は、来年4月の入学予定者で、修学資金の貸与を希望する方への貸付けを行うため、医学生修学資金貸付金を増額するものです。

「農業支援サービス育成対策事業」222万4,000円の追加は、国の補助を受け農業支援サービスの立ち上げや事業拡大に取り組む農業者を支援するため、農業支援サービス育成対策事業費補助金を追加するものです。

「農業用施設管理費」501万6,000円の追加は、9月2日発生の大雨により崩落した長畑地区用水路の復旧のため、農業用施設補修工事費を増額するものです。

「森林環境保全直接支援事業」358万7,000円の追加は、森林経営計画に基づき実施される再造

林及び収入間伐を支援するため、森林環境保全直接支援事業費補助金を増額するものです。

「除雪対策事業」3億円の追加は、1月以降の除雪出動見通しや単価確定などに対応して除雪委託料を増額するものです。

「融雪施設整備事業」1,804万円の追加は、市道玉内小豆沢線融雪施設の高圧受変電設備の規格変更に対応するため、施設改修工事費を増額するものです。

「小学校施設管理費」885万5,000円の追加は、十和田小学校のプールろ過装置を更新するため、修繕料を増額するものです。

「学校給食費」471万4,000円の追加は、物価高騰の影響等により、今後の予算に不足が見込まれることから、賄材料費を増額するものです。

このほか、秋田県人事委員会の勧告等に伴う期末・勤勉手当の支給月数の改定など人件費等の調整を行います。

以上で、12月補正予算の概要説明を終わります。

○湯瀬委員長 説明が終わりましたが、この後定例会中の委員会もございますので、説明のみとさせていただきますと思いますが、どうしても今回確認したい点がございましたら発言願います。

○湯瀬委員長 松村委員。

○松村委員 医師確保対策事業についてですけれども、何人ぐらいに貸し付ける予定なのかというところと、実際に貸付けをして期待している部分としては鹿角のお医者さんになってほしいということだと思うんですけれども、そのあたりの期待値的なものをどう見ていらっしゃるのかなというところを伺ってもよろしいでしょうか。

○田村財政課政策監 兼 財政班長 今回1,800万円の追加をさせていただきますが、こちらのほう来年入学予定の3名分となってございます。次の期待の部分については、所管ではないためにちょっと回答は控えさせていただきますと思います。

○松村委員 絶対にやるべきことだとは思いますが、ちょっと私も耳に挟んだ程度ですが、こうやって一生懸命お金とか貸し付けてお医者さんを育てても、結局優秀なお医者さんって貸し付けたお金をさっと返してどこかに行っちゃうよねみたいな話を聞いたことがありまして、実際にこれが狙った効果を生むのかどうかというところを、ちょっとどうなんだろうというところで質問してみました。

○湯瀬委員長 松村委員。どうしてもということでしたけれども、所管とは別のことで、ご理解ください。

ほかにございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○湯瀬委員長 そのほか、当局及び委員の皆様から何かございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○湯瀬委員長 ないようですので、その他についてはこれで終わります。

【閉 会】

○湯瀬委員長 以上をもちまして、本日予定いたしました事項の協議は全て終了いたしました。

当局におかれましては、ただいま出されました要望・意見等について十分検討され、それぞれ措置願いたいと思います。

それでは、ただいまの時刻をもって総務財政常任委員会を閉会いたします。

大変お疲れさまでございました。

午前 10 時 47 分 閉会